

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

危険

使用場所の注意：ジャッキスタンドが転倒したり、地面の沈み込みの恐れがある軟弱な地面、凸凹の地面、傾斜のある地面等では使用しないでください。転倒や落下等で重傷、死亡事故の原因となります。
作業者の注意：作業される方は必ず御使用前に取扱い説明書を熟知し本製品の使用方法をよく理解してください。さらに各部の操作に慣れ、圧力の調整作業をゆっくりと慎重に行える方が作業してください。不慣れな方は重傷、死亡の事故の原因となります。本体の分解、修理、改造はしないでください。

警告

- ・本製品は、車両を持ち上げる事のみを目的として作られています。ジャッキアップ後は必ずリジットラック等を使用して下さい。絶対にジャッキを上げたまま保持しないで下さい。
- ・ジャッキを使用して車両の移動等は絶対に行わないでください。
- ・本来の用途以外で使用すると、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
- ・使用前や定期的に、損傷・破損、作動不良、異音、油圧オイルの漏れなどの異常がないか点検してください。
- ・使用中、損傷・破損、作動不良、異音、オイル漏れなどがある場合は、ただちに使用を中止して下さい。
- ・異常がある場合、お買い求めの販売店までお問い合わせください。
- ・ジャッキアップポイントはメーカーのサービスマニュアルを参照して下さい。
- ・ジャッキアップする際は、車両が動かないようにして下さい。車両を動かす為に使用しないで下さい。
- ・作業中、作業手順や周辺の状態への安全確認を怠らないようにし、事故に注意してください。
- ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- ・直射日光、暖房器具や温度上昇する機器の側で使用しないでください。
- ・本製品は、屋内専用です。屋外での使用は止めてください。
- ・屋外での使用は、本体故障、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・能力を超える使用はしないでください。破損及びケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・使用場所の最適な作業環境温度は 0℃～ 40℃以内です。
0℃以下はオイルが硬くなり作動不良の原因となります。
- ・設置場所はチリやホコリが多くある場所に設置しないでください。シリンダーやポンプにゴミが付着するとオイル漏れの原因となります。
- ・水気のある場所、水が掛かるような場所に設置しないでください。

油圧ポンプのエア抜きの方法及びオイル量に付きまして

最大荷重：8 t
揚程：222 ～ 455mm
本体重量：4.5 kg
使用温度範囲：-20℃～ 50℃

油圧ポンプ各部名称



・初めて使用する時、シリンダーが正常に作動しない時はエア抜きを行ってください。

油圧ポンプのエア抜きの方法



1 リリースバルブをハンドルを使用して時計回り方向に回して弁を閉じます。

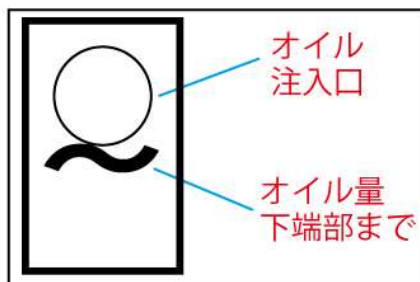


2 ハンドル差込部にハンドルを差込、ポンピング操作をし圧力を掛けてシリンダー部を一杯まで伸ばしてください。



3 リリースバルブをハンドルを使用して反時計回りに回してオイル注入口のゴム栓を外します。シリンダーを押さえながら下げてエアを抜きます。
注意：この時にオイル注入口よりエアとオイルが噴出します。
ウエスを用意して周囲に飛散ないように注入口を覆ってください。
上記作業を2～3回繰り返してください。
オイル量を確認して少ない場合は補充してください。
ゴム栓を元に戻してください。

オイル交換及び量の点検方法



使用オイル：作動油 ISO VG32
注意：オイル注入後は必ずエア抜き作業をしてください。
※1年に1回、油圧ポンプのオイル交換をしてください。

オイル交換を行う場合、リリースバルブを反時計回りに回して弁を開きます。オイル注入口のゴム栓を取外して、廃油受け等に排出します。新しいオイルをオイル注入口の穴より補充します。(写真4) オイル量はオイル注入口の下端部までオイルを入れてください。油圧ポンプのエア抜きを行ってオイル量を確認してください。

ジャッキアップの方法

1. 地面がコンクリート等の水平で固い場所に車両を準備して各車両メーカー指定のジャッキアップポイントで上昇させるようにダルマジッキを設置してください。
2. リリースバルブをハンドルを使用して時計回り方向に回して弁を閉じます。(写真1)
3. ハンドル差込部にハンドルを差込、ポンピング操作をし圧力を掛けてシリンダー部分をゆっくりと慎重に必要な高さまで上昇させます。(写真2)

※ジャッキの能力を超える負荷が掛かると安全弁が開き上昇しません。

※ジャッキアップ後は速やかにジャッキスタンドを左右2脚使用して車両を固定してください。

※ジャッキのみでの車両の保持は事故、破損の原因となり大変危険な為、絶対に行わないでください。



ジャッキダウンの方法

1. 車両の下及び周辺に、人がいない事を確認してください。
2. リリースバルブをハンドルを使用してゆっくり少しずつ慎重に反時計回り方向に回して弁を開きます。(写真3)
バルブの回す量によって車両の下がるスピードをコントロールできます。
※バルブの開きすぎにより、不意に下降する場合がありますので慎重に注意してください。

